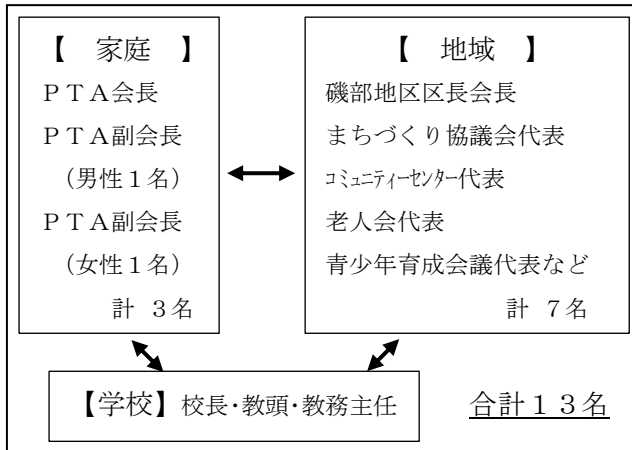


### 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

#### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



#### (2) 協議会の内容

- ・開催予定回数 年3回
- ・開催日程(予定)  
6月 10月 2月
- ・協議内容(予定)
  - ①幼・小・中の連携による学校づくり
  - ②家庭・地域・学校の連携事業について
    - ・あいさつ運動の推進
    - ・安全な地域づくり
  - ③地域人材の発掘と活用について

#### (3) 協議会における成果と課題

様々な立場の方々に参加していただくことにより、家庭や地域との連携を強化し、学校を開き学校内外の教育活動とともに支え合う関係づくりを進め、地域の子どもの育成に努めることができた。

### 2 地域と進める体験活動

#### (1) 活動のねらい

地域に生息する蛸などの水辺の生き物について学ぶこと、また、地域で活躍する方々と共に活動することで、ふるさと「磯部」の伝統・文化・自然・産業・人に誇りを持ち、地域を愛する児童の育成を目指す。

#### (2) 活動の実際

##### ①ホタル水路・田んぼの生き物調査(4年生)

磯部地区では平成23年度から、ホタルの舞う水辺の里構想が推進されている。用水路のパイプライン化により生まれた土地に水路を作り、生き物の捕獲・観察を行っている。今年5月22日に小学校とホタル水路にて「ホタル水路・田んぼの生き物調査」が行われ、地域コーディネーターの協力を得て、講義と屋外活動により生き物の観察・記録会を実施した。身近な水路にいろいろな生き物がいること、その生き物を育むには環境保全が大切なことを楽しく学ぶことができた。班ごとにゴミを拾い活動の様子をカメラで撮り、学んだことは、学校公開日に発表したり、理科研究として発表したり、学校のコミュニティホールにパネルにして掲示したりして、来校される方々にPR活動をしている。



**(3) 地域コーディネーターの活動概要**

**地域コーディネーター 2名**（読み聞かせボランティア・地域の見守り隊員）

読み聞かせボランティアとして活動したり、地域の見守り隊員として子どもの安全な登下校を見守ったりしながら、学校の教育活動に参加したり、講師になってくださったりして、学校と地域を結ぶ仲立ちをしてくださっている。

**(4) 特に工夫した事項**

- ・今までの活動は、単なる活動に終わっていたが、今回は清掃活動をしたり、発表したりPR活動をしたり、広く成果を知らせるための事後の活動にも取り組むことが出来た。
- ・学校公開や学校行事などは、保護者の方が学校に来てくださることが多いのだが、より多くの地域の方々に学校へ足を運んでいただくために、子どもたちの祖父母にも広くお知らせするようにした。

**(5) 成果と課題**

地域へ出て行く体験学習は、学校内での学習では得られない貴重な経験や知識、感動を得ることができる。しかし教職員だけでは指導が十分ではないため、実際の活動指導をJA職員や地域の方、保護者の方、家庭・地域・学校協議会の方々のご理解ご協力の下に補っていただいている。体験活動を導入することは、ボランティアの方の確保をはじめ、自然を相手にするだけに、日程の調整や天候による急遽日程変更があるなど、課題は少なくないが、体験活動は児童にとって有意義なものになっている。今後も体験活動を通して、自分達の住む地域に興味・関心をもたせ、地域意識を高めることにつなげたい。また、これらの学習や体験を通して、身近な地域の産業や自然の再発見につながることを期待している。